



佐々町

平成28年12月定例会

第121号

# 議会だより



## ◆ 目次 ◆

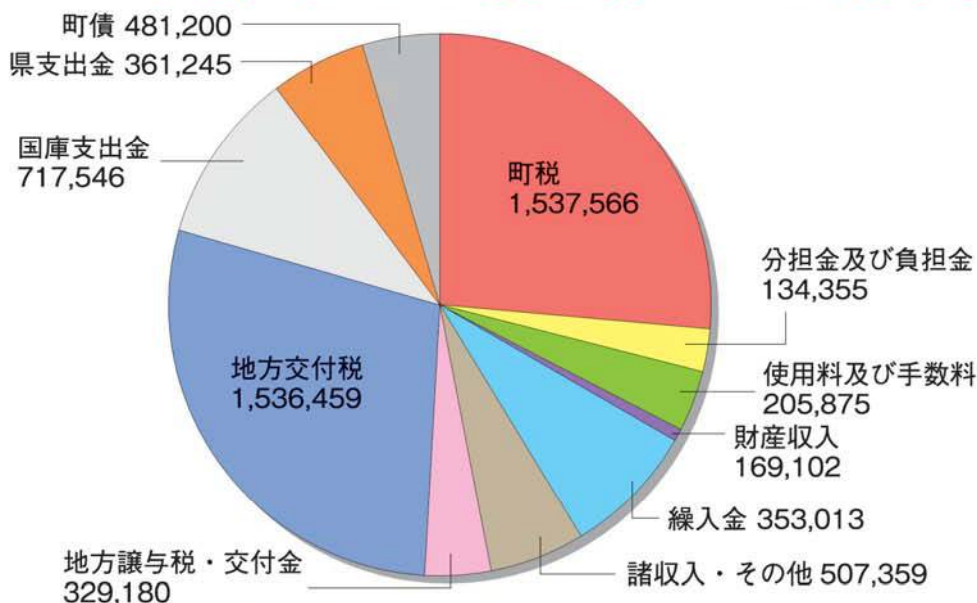
□平成28年12月定例会・平成27年度決算認定	2・3
□平成28年度一般会計補正予算	4
□平成28年12月議会 賛否表	5
□一般質問 7人が質問	6・7・8・9・10・11・12・13
□総務厚生委員会・産業建設文教委員会	14
□町内会懇談会を開催	15
□議会日誌	16
□福岡県川崎町議会からの視察・アカデミー研修	17
□地域交流センター特集(第3回)	18
□全国・県の広報研修	19
□町民の声・編集後記	20

でんでんパークで遊ぶ親子

# 成果を認定 決算審査

平成27年度一般会計決算 [単位：千円]

## 歳入 63億3,290万円



平成27年度各会計の決算認定については、総務厚生委員会は平成28年10月12日から14日と17日、21日の5日間、産業建設文教委員会は10月24日、25日の2日間で審査し、12月定例会において、各委員会委員長の報告のとおりすべての会計を認定しました。

### 平成27年度決算のあらまし

一般会計歳入総額は63億3,290万円、歳出総額は60億836万円、翌年度へ繰越すべき財源2,840万円を除く実質収支額は2億9,615万円になりました。

町の借金である一般会計の地方債残高は45億9,063万円に、町の貯金である一般会計の基金残高は57億7,456万円になりました。

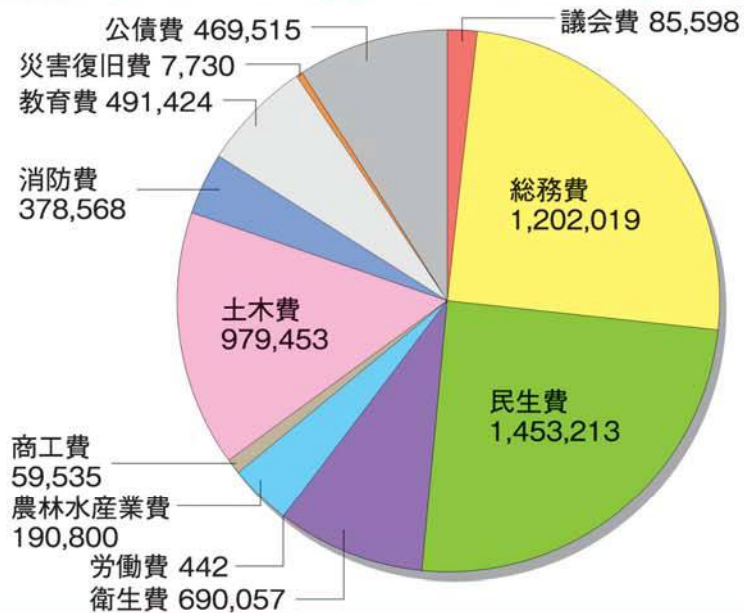
### 平成27年度 特別会計・企業会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	17億96,000千円	17億41,199千円
国民健康保険診療所特別会計	10,746千円	9,919千円
介護保険特別会計	11億5,874千円	10億45,015千円
後期高齢者医療特別会計	1億27,199千円	1億25,467千円
公共下水道事業特別会計	6億92,939千円	6億56,011千円
農業集落排水事業特別会計	24,491千円	22,994千円
合計	37億57,249千円	36億605千円
水道事業会計	収益的収入	収益的支出
	3億66,722千円	2億54,513千円
	資本的収入	資本的支出
	135千円	2億51,126千円

# 平成27年度 一般会計(歳出総額)

# 60億836万円の

## 歳出 60億836万円



町民1人あたり  
**約43万円**  
使いました

H28.3.31 現在 人口 13,792 人

### 平成27年度 決算における財政指標

財政力指数 0.485	経常収支 比率 84.2%	実質赤字 比率 △8.5%	連結実質赤字 比率 △41.8%	実質公債費 比率 6.2%	将来負担 比率 △102.0%	企業会計に係る 資金不足比率 水道事業会計 △306.9% 公共下水道事業 特別会計 △10.1% 農業集落排水事業 特別会計 △64.6%
財政力を示す 指数で1に近いほど 財源に余裕あり	人件費など ※1義務的経費に一般財源 収入がどの程度 充当されているかを示す もの。70%~80%程度で 低い率ほど望ましい。	一般会計の赤字額が※2標準 財政規模に占める割合 (黒字の場合は「△」の表示 となる)	全会計の実質赤字額が標準 財政規模に占める割合(黒 字の場合は「△」の表示と なる)	全会計の償還額が標準財政 規模にある割合	将来一般会計から負担され ると想定される金額等が標 準財政規模に占める割合 (黒字の場合は「△」の表示 となる)	資金不足の額が事業規模に 占める割合(赤字の要素が ないため負の値となる)

※1 義務的経費～地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務づけられ任意に削減できない経費。人件費、扶助費、公債費の3つの負担が厳密な意味での義務的経費とされる。

※2 標準財政規模～標準的な税金、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。

# 一般会計補正

# 総額63億1,532万円

平成28年  
12月  
定例会

## 補正の主なもの

**可決**

	予算項目	補正額	補正内容
歳入	まちづくり事業 寄附金	23,000千円の減額	ふるさと納税の 実績見込額 17,000 千円
	環境整備協力金	3,039千円の増額	ポートルース チケットショップから 総計で10,039千円
歳出	住宅管理費 (工事請負費)	26,698千円の減額	交付金の内示減で 松瀬団地C棟の 屋根外壁改修のみに変更
	災害復旧費 (工事請負費)	14,140千円の増額	道路災害復旧工事2件 農地災害復旧工事

12月定例会が12月14日から16日までの3日間の会期で開催されました。9月議会で各委員会に※付託されていた平成27年度決算認定8件、条例の一部改正等7件、平成28年度補正予算6件の提案があり、更に人事院勧告に伴う給与条例の一部改正2件、関連の補正予算、あわせて地域交流センターの備品購入のための物品売買契約締結議案が提案され、すべての議案を原案どおり可決しました。

## 条例改正の主なもの

**可決**

○佐々町税条例等の一部改正

・延滞金額の計算の基礎となる期間の見直し

・医療費控除の特例の創設

(スイッチOTC医薬品購入1万2千円を超える時控除)

○佐々町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例制定

(農地利用の集積集約化、耕作放棄地の発生防止、新規参入の促進を図る目的)

○佐々町指定地域密着型サービス事業の人員設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部改正

(介護保険法の改正により、利用定員が18人以下の通所介護が市町村指定となったもの)

## 佐々町交流センター備品購入 12,157千円で契約

**可決**

完成間近の交流センター用備品の売買契約締結議案が提案され、株式会社ビーテックとの契約が原案どおり可決されました。

交流センターの完成は2月20日の予定であり、4月1日からのオープンに向けて準備が急がれています。

用語解説  
※付託  
地方公共団体の議会については、議会が議決前に事件を委員会の議に付することをいう。

## 平成28年12月議会 賛否表

議案上程																												
	平成27年度 一般会計歳入歳出決算認定の件	平成27年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	平成27年度 介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	平成27年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	平成27年度 国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定の件	平成27年度 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	平成27年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件	平成27年度 水道事業会計利益の処分及び決算認定の件	国民健康保険税条例の一部改正の件	国民健康保険税条例の一部改正の件	保育所条例の一部改正の件	福祉医療費の支給に関する条例の一部改正の件	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例制定の件	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正の件	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部改正の件	平成28年度 一般会計補正予算(第4号)	平成28年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	平成28年度 介護保険特別会計補正予算(第2号)	平成28年度 公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	平成28年度 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	平成28年度 水道事業会計補正予算(第1号)	町長及び副町長の給与に関する条例等の一部改正の件	職員給与に関する条例の一部改正の件	平成28年度 一般会計補正予算(第5号)	平成28年度 介護保険特別会計補正予算(第3号)	平成28年度 公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	平成28年度 水道事業会計補正予算(第2号)	物品売買契約締結の件
福田 喜義	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
阿部 豊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寺崎 俊男	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
永安 文男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
橋本 義雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平田 康範	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須藤 敏規	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
淡田 邦夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
仲村 吉博	●	●	●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○
西 日出海																												
表決数	7対1	7対1	7対1	7対1	8対0	8対0	8対0	8対0	7対1	8対0	7対1	8対0	7対1	7対1	8対0	9対0	8対0	8対0	8対0	8対0	8対0	7対1	7対1	7対1	7対1	7対1	7対1	8対0
結果	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	

○は賛成、●は反対、/は欠席、議長は評決に加わりません

## 一般質問

# 7人が質問

平田 康範 議員(一問一答)…… 7

- ① 移住定住促進対策の現状と課題について
- ② 駐車場の適正管理について

橋本 義雄 議員(一括質問)…… 8

- ① まちづくりについて
- ② 防災対策について
- ③ 無形文化財の推進について

永安 文男 議員(一問一答)…… 9

- ① 道路(町道)の整備について
- ② 本町職員の労働環境の状況は

福田 喜義 議員(一括質問)…… 10

- ① 障害者の方の災害時の避難援助体制等について
- ② 西九州道松浦佐々道路につい

淡田 邦夫 議員(一問一答)…… 11

- ① 平成28年度の事業計画の進捗状況は
- ② たばこ対策はどのように

仲村 吉博 議員(一問一答)…… 12

- ① 原発の再稼働、廃炉に自治体が意思表示することについて
- ② 介護保険料の減免について

西日 出海 議員(一問一答)…… 13

- ① 行政運営の実績について

祝  
29平成  
佐々町  
成人式  
典会場

### 一般質問

質問の内容は、定例会開催10日前までに議長に提出し、議長を通じて町長に通告します。質問数に制限はありませんが、質問時間は一時間以内です。

### 一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。原稿は写真、イラスト等を含め1800字以内で要約したものです。原文を尊重して掲載しています。

### 一般質問方式

#### 一括質問一括答弁方式

議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町長がその質問項目について一括して答弁を行います。

#### 一問一答方式

文字どおり一つの質問項目ごとに町長から答弁を行います。

成人式

# 空き家バンク制度を

## 新設すべきではないのか

### 創設については検討を進める

**質問**

全国の自治体も地方版の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、移住対策に取り組んでいる。

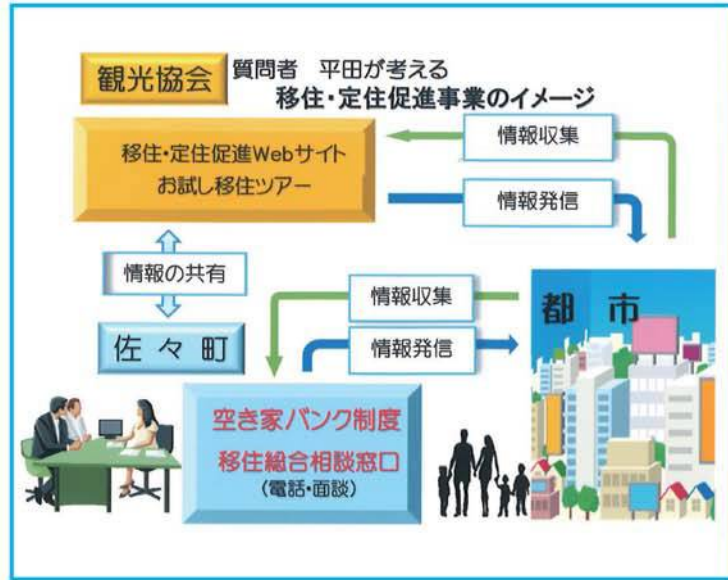
今後、自治体間の競争が生じてくるが、空き家バンク制度を新設したらどうか。

**町長**

現在、実施している空き家実態調査を踏まえ、他の町村を参考にしながら空き家バンク制度の創設について検討を進めます。



議員  
平田 康範



**質問**

情報発信など二元的に対応する移住相談窓口を新設したらどうか。

**町長**

企画財政課をワンストップ窓口として対応しています。

## 公有財産である駐車場は適正な管理をすべきではないのか

### 見直しをしなければと考えている



文化会館前広場

**質問**

文化会館前広場は町営駐車場と国道側のふるさと広場が隣接して駐車場としての形態をなしているが、関係者以外の車が終日駐車されているなど、佐々町営駐車場管理規則に沿った駐車場の利用状況ではないと思うが。

**町長**

現在の利用形態は良くないので見直しを検討していきます。

**質問**

駐車場の管理を徹底するためには人的管理もあるが、フリーゲートシステムでの管理が効率的と思われる。

**町長**

システム導入についてどのような考えか。利用状況などを調査し、駐車場のあり方、全体を見直しながらフリーゲートとか看板の

**質問**

設置について検討させていただきたい。

イベントなどで文化会館前駐車場が満車状態になっているにも関わらず役場横駐車場は閉鎖されている。

役場横駐車場も臨時的に開放すべきではないのか。

**町長**

催事を担当する課との調整を図りながら臨機応変に対応しなければと思います。



役場横駐車場



議員 橋本 義雄

# 町長と職員との信頼関係が大事と思うが、町政の推進の為に、職員の頑張りが必要不可欠

質問

第6次佐々町総合計画 後期基本計画が示され、まちづくりそれぞれ取り組んでおられるわけですが、やはり職員の頑張りが一番だと思う。それには、元気で明るい働きやすい職場を作ることが大事。

町長

総合計画・総合戦略の推進会議を設置しその中で職員と様々な会議を通じてコミュニケーションを図っていくことが重要と考えています。

町長と職員との信頼関係のもと、町政を推進していると思う。その信頼関係を作る為のようなことをしているのか。



北部河川敷に河津桜を

## 小河川の整備の計画は

### 地域からの情報を把握しながら、その中で年次的に可能な範囲内で取り組む

質問

北部の河川敷に河津桜と菜の花の景観を作る考えはないのか。

町長

県の河川課と協議をし管理上大丈夫なのか協議をさせて頂きたい。

質問

防災については、前期基本計画の中に、江里川、志方川、川添川、の支流整備等の調査を行ったとあるが、その結果をうかがいたい。

後期基本計画に小河川の計画的改修を行うとあるが、その計画について聞きたい。

町長

必要と判断された箇所につきましては現在整備を行っています。今後とも現在整備中の箇所や地域からの要望等も含めて調査検討し、取り組んで行かなければならないと思っております。

## 無形文化財の推進は

神田には、町指定文化財に指定された神田雅楽があります。ただいま後継者づくりやねりんピックでの演奏など、演奏活動を行っております。

質問

戦略目標の中に地域の活性化を図るうえで、文化財や観光に活かしまちづくり・地域づくりに活かしていくことが重要とあるが、その考えはあるのか聞きたい。

町長

伝統ある雅楽の保存のために後継者の育成は、大変重要と考えています。子供たちが佐々町の歴史や文化を深く理解することは、郷土を愛する心と誇りを育てるために大変重要なことで、豊かな情操を育てることと考えています。町としても長期的なまちづくり、地域づくりに大きな効果を発揮するものと思っております。教育に活用できれば進めていかなければならぬと思っております。



ねんりんピックでの演舞



# 国道204号に通じる 生活道路の整備は

## 道路整備は 地域の活性化には重要

### 質問

国道から東町地区へ入る町道東町線の拡幅改良が先に進んでいない。生活関連の通行に支障を来している状況にある。

この路線の取組みと今後の対策についてどうか。

### 町長

入口は既に終わっているが、奥の未改良については一部家屋移転という厳しい状況があり、今後関係地権者の理解



議員 永安文男



町道東町線の状況

と緊急的な優先度、予算の確保が可能なかの問題があります。

地元町内会の皆さんと話をし、現在の状況把握に努めながら検討させていただきます。

### 質問

国道から口石地区、木場線へ至る町道龍開線の拡幅改良と、妙見橋付近の交差点改良整備は考えられないか。

### 町長

今後の具体的な対策については、地域の意向、地権者の理解、事業実施の環境が整うか十分検討していかねればと思っております。

### 質問

新町の交差点から入る牧崎線とパチンコ店前からの住宅団地へ通じる道路の拡幅は。

### 町長

この路線は交通量も多く改良が望まれますが、関係地権者の理解が一番重要です。早くやらないといけないと思いますが、全体の優先度を考えながらやっ

ていかなければならないと思っております。

### 質問

インターチェンジの交通渋滞緩和の位置づけにある牧崎市場線新設改良は、全体のまちづくりを考えるなら早く形づくりができると思うがどう考えるか。

### 町長

商業施設の大型開発が検討され、どうなるか見極めていきます。



新町交差点付近

## メンタルヘルスの充実で

## 町の財産である職員を守ること

## 全庁的取り組みで職場の労働環境改善を行う

### 質問

電通の過重労働問題が報道されましたが、本町のメンタルヘルスと職員の労働環境についての状況はいかに。

県からの権限移譲や住民ニーズの多様化等で、職員にかなりの負担がかかっているのではないかと。遅くまで仕事をし、病気をしないかと家族の心配があると思われ、職場環境の調整についてはどのようなようにされているか。

### 町長

電通の長時間労働により過労自殺したこと大きな社会問題になっていきます。本町においては、年一回のストレスチェックを実施しています。

メンタルヘルスの取組みとして、労働時間の短縮とセクハラ・パワハラ等がメンタル不調の原因となることから、全庁的な取組みにより労働環境改善を進めます。

### 総務課長

職員の悩み事相談については、ストレスチェックの中での対応を考えていきます。



職員の執務状況



議員 福田喜義

# 障害者の方の 災害時の避難援助体制は 名簿整備に向けてシステムの 構築作業を進めている

質問

市瀬町内会では防災ウォーキングを実施しており、子どもや高齢者など、地域の様々な世代間で交流がはかられている。これは、災害発生時の協力体制を構築するという意味ではとても重要なことだと思っ

一人暮らしの障害者の方についても、そのような普段から交流が図れる施策を実施するこ

名簿の情報提供を行う必要があると考えており、議員の質問があったように、大規模な災害においては、常備消防とか、それから警察、自衛隊などと連携した救助も必要になるのではないかと考えています。

まず我々も名簿の整備をして、それから地域の方々と話し合いをしながら、どういう方がどこに住んでいらっしゃるかというのを把握しなければならぬ。

全体的にそういう方向性を考えながら、名簿作成し、そして情報提供を各所にやりながら、町としては災害時に備えなければならない。

町の職員だけでは難しく、いろんな協力者のネットワークを構築しながら今後やっていきたいと考えています。

# 西九州道松浦佐々道路は どのような 地元説明会を要望している

質問

11月20日に西九州道

松浦佐々道路着工式があつたが、佐々町では、

大茂地区における地すべり地域のボーリング調査の問題がまだ解決していない。何度も町長、議長、議員、担当課で国や県に要望を行つて

いるが、確実な情報というのはまだ地元で提示されていないと思う。

確実な情報を提示して説明しないと、地元の方の協力はなかなか難しいのではないかと。

町長みずから県にお願いし、県担当が地元に出向いて、地元の方がもう少し納得のいくような説明をしてもらうことが必要ではないか。

町長

本町の区間において

は、昨年度から国土交通省の長崎国道事務所、県知事、県議会への要望活動の中で、盛土工法から高架の工法への変更、それから大茂地区における地すべり地域のボーリング調査とその結果

説明を地元住民に行うなどして、お願いはしています。

28年の7月8日に地元への調査の概要と結果について説明を行っています。出水期における水位と、それから傾斜の観測を継続して行うということ、その結果については改めて説明をすることにしていたが、国としては今まだ継続

調査をしているということでありませう。そういうことで、現在の状況としては、町が今要望している内容について具体的に回答をいただくということには至っていない。

今後説明できる状況が来たら、私がまた出かけていってでも説明をさせていただきたいと考えています。



# たばこ対策はどのように

## 勤務時間中の喫煙も検討する

**質問**

庁舎内での喫煙所問題で再三再四取上げてきたが、町長の答弁では何らかの対策をと聞いている。いまだ何の対策も取っていない。どうなっているのか。

**町長**

住民の方から指摘をいただいています。たばこ対策については大変ご迷惑をお掛けしています。

**総務課長**

町民の方から、メールや投書で、喫煙場所だけではなく、職員の勤務時間中の喫煙についても指摘があつています。全庁舎、学校施設も含め公的な施設において喫煙をどのように行うか。職員に限っては、勤務時間中の禁煙のあり方も検討します。基本的には施設外に隣接して、雨風がしのげる場所に設置したい。



議員 淡田邦夫



庁舎入口の喫煙所

## 平成28年度の事業計画の進捗状況は

### 早く行動をと思っている

**質問**

佐々町として、塵芥処理場と、し尿処理場は避けては通れない課題である。

佐々クリーンセンターは20年経過している。安定的、効率的な施設運営を行うためにどのように

検討しているのか。

**町長**

耐用年数は国の資料によると、20年から25年で廃炉となっています。

また、年数経過とともに補修費が増加し、長寿命化を行う場合、最低で

も7億、2炉維持する場合に約10億の費用がかかります。新たな施設を設置すると26億が必要と試算しています。ゴミ処理については民間委託の方法もあり、広域的に処理ができないかも含め、県へ要望を行っています。

**質問**

新規就農対策として地域おこし協力隊3名を募集となっているがどのようになっているのか。

**総務課長**

一定期間、地域のブランドとか地場産品の開発などを行い、地域おこし活動を進め、地域への定着を図る取組みで、6月28日に募集を行いました。4名の応募がありました。町が求める人材ではありませんでした。9月に2回目の募集をし、1名を2月1日付で採用しました。

**質問**

地方創生加速化交付金事業で平成27年度予算、28年度へ繰り越し5400万円で、高齢者の元気づくり支援、定住促進プロモーション事業は観光協会へ委託しているが、この事業の進捗状況はどのようになっているのか。

**産業経済課長**

当初はもろぶた寿司でギネスに挑戦だったが、理事会の中で検討し、この事業は断念しました。タウンプロモーション3本のビデオを作成します。移住・定住の促進は雑誌へのPR活動・ポスター・パンフレットで今準備を進めています。お試し居住ツアーは具体的には組立ができていませんが、現在理事会で協議を行っています。平成29年3月までに事業を全て完成することになります。



議員 仲村吉博

30キロ圏外の首長が  
廃炉の意思表示をしているが  
意思表示は難しい  
差し控えさせていた

質問

30キロ圏外の小樽市長は、北海道電力に泊原発全3基を廃炉とするよう要請するとの方針を表明された。市長は、福島原発事故を見ると30キロ圏だけが影響を受けているわけではない。泊原発で事故がおきれば、小樽市も影響をうけると述べておられた。市長と同じ認識に立っていないか。

町長

国の規制委員会が原子力のいろんな問題を決める



るところなので、それ以上のことはわからない。町としては、原子力稼働がだめですよという意思表示は難しい。

第5号に該当する  
世帯どれだけあるのか  
現在あつておりません

質問

介護保険条例の第12条に減免の定めがある。1項5号に、その他町長が必要と認める特別の事情とある。条例を受けて施行規則は生活保護基準以下とあるが、減免を必要とする人すべてをカバーできるのか。なぜ生活保護基準としたのか。

1号から4号までは具体的な定めがある。5号は明確な定めはない。生活保護基準以下と明確な定めがあればそれに当たらない場合、減免されるべき対象からはずされるのではないか。救済の網の目から外れる部分が出てくるのではないか。町長の判断の余地がないのではないか。

住民福祉課長

生活保護の基準は、その時点において、生活困窮しているのではないか。そうしたときに、例えば、資産の活用であったりとか、できる場合であれば、そちらを優先して活用していただくという考え方はないかと思えます。

質問

資産を処分しないと減免はできないってことでしょう。

町長

保険料の減免は、1号から4号までである。5号で全てをカバーするというのが条例上の制度は厳しすぎる。町長の判断の余地がある規則にすべきではないか。第6次の計画の中で検討します。

(保険料の減免)

第12条 町長は、次の各号のいずれかに該当する者のうち必要があると認められる者に対し、保険料を減免することができる。

- (1) 第1号被保険者又はその属する世帯の生計を主として維持する者が、震災、風水害、火災その他これらに類する災害により、住宅、家財又はその他の財産について著しい損害を受けたこと。
- (2) 第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者が死亡したこと、又はその者が心身に重大な障害を受け、若しくは長期間入院したことにより、その者の収入が著しく減少したこと。
- (3) 第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の収入が、事業又は業務の休廃止、事業における著しい損失、失業等により著しく減少したこと。
- (4) 第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の収入が、干ばつ、冷害、凍霜害等による農作物の不作、不漁その他これらに類する理由により著しく減少したこと。
- (5) その他町長が必要と認める特別の事情があること。

2 前項の規定により保険料の減免を受けようとする者は、普通徴収の方法により保険料を徴収されている者については納期限前7日までに、特別徴収の方法により保険料を徴収されている者については特別徴収対象年金給付の支払いに係る月の前月の15日までに、次に掲げる事項を記載した申請書に減免を受けようとする理由を証明する書類を添付して、町長に提出しなければならない。



議員  
西 日出海

## 佐々町の将来像について 行政方針はどう考えるか 私がいろいろと言うのではなく 後期基本計画を新たな町長達で

質問

今の人口を持続させ地方財政を維持するには生産年齢人口の定着が必要である。若い家族の人たちを呼び込むことである。この世代の人達は出産、育児教育といずれも苦勞の多い大切な時期を迎えている。安心して子育てが出来る魅力ある環境で呼び込み、住環境を整え、定住促進を図ると同時に、人口増加に努め、健全な財政のもと、福祉の増進と人にやさしいまちづくりを進めることが必要と思う。子ども子育て支援と企業誘致による雇用の確保を政策の柱にしなければと思うが、如何に。

町長

佐々町の将来像について私  
がいろいろ言うのではなく、総

合計画を実行すること  
です。今後は後期基本計  
画に沿った町政を新た  
になる町長達がそうい

### 将来のまちづくりについて 公開討論会・意見発表会の 開催をする考えはないか 考えはもっていない

質問

町長になって約束をさ  
れた町政懇談会を8年間  
開催されなかった。本当  
に残念である。そういう  
面で佐々町の将来につ  
いて関心のある方々と公開  
の場で討論会・パネル  
ディスカッションをする  
意思はないか。

町長

私は公開討論会につ  
いては、現状そういう考  
えは持っていない。新し  
い町長がなられてその  
後に住民対話集金を考  
えておられるならそれ  
で私は十分じゃないか  
と思います。

うことを背負ってやっ  
ていかれるのではと思  
います。

質問

まちづくりのための政  
策を研究する意味でも  
のです。

町長はトップリーダー  
ですから町長から声かけ  
をするという、前向きな  
姿勢でやっていこうとい  
う答えを期待するがどう  
ですか。

町長

選挙があるので、私の  
任期では難しい。新しい  
方に町政の状況、地方創  
生、総合戦略についての  
方向性を説明していま  
だければと思っていま  
す。

### 庁舎の耐震化は 新しい執行部で

質問

防災の拠点である庁舎  
を耐震化するのか建て替  
えするのか最終的方向性  
を3月議会までに出すべ  
きではないか。

町長

3月までに出すのは  
難しい。新しい執行部で  
考えて頂きたい。

### し尿の前処理 施設建設は

### 3月末には出す

質問

民間委託の満了期間が  
平成30年3月末までに前  
処理施設の建設は不可能  
でないか？その後の協議  
は？処理方針の決定はい  
つまでに出すのか。

町長

協議はしていない。平  
成29年3月末には出  
す。

### ごみ処理の 方針の決定は 効率の いい方法で

質問

民間施設で焼却処分の  
みを委託で年間3000  
万円の経費縮減が出来る  
説明を受けている状況  
で、改築・改修・民間委託  
等についてこの2年間で  
どのように検討協議され  
たのか、また方針決定は  
いつなのか。

町長

内部協議は何回かし  
た。一部民間委託・新築・  
広域連携の選択肢があ  
る。効率的に考えれば、  
どれくらい安いかわ  
かっています。

# 総務厚生委員会

所管事務調査  
11月4日

## 保育所条例の一部改正

中央保育所を平成29年4月1日から民営化することに伴い、名称、位置、所在地を改正。

施行規則の名称と定員、組織規則は中央保育所の名称を削除

### 質疑

第2保育所の名称は継続

今後の運営方針は協議中

指定地域密着型サービス  
の事業の人員、設備及び事業の運営に係る基準に関する条例等  
の一部改正

国の省令等に基づき関係条例の一部を改正

18人未満の介護施設は、県から町が指定することに。

### 報告

●地域子育て支援事業ぶくぶくクラブの実施場所の

### 協議経過

●中央保育所の施設の運営移管に関する契約

●熊本地震の対応

●データヘルス計画

データヘルス計画とは地域

統計や電子レセプトデータの

分析を通して、地域の健康

課題と改善目標を明確にし、

PDCAサイクル技法によつて

効果的に保健事業を実施する

ための計画

●国保都道府県化

財政運営の責任主体が平成

30年4月から

都道府県となる。

●平成27年度の国勢人口

本町は、

総勢1万3626人

世帯数5102世帯

11月17日

職員の給与に関する  
条例の一部改正

税条例等の一部改正

福祉医療費の支給に  
関する条例の一部改正

### 報告

●人事評価制度

●庁舎内事故

●臨時福祉給付金

## 産業建設文教委員会

所管事務調査  
11月15日開催

佐々町地域交流センター

佐々町地域交流センター

完成予定は、平成29年2

月20日。開館セレモニーは

平成29年3月18日土曜日

午前10時から一時間半で開

催。4月1日以降オープン

とし、住民の方への周知を

考えていきたい。

3月の定例会において、

条例の制定、施設の利用

と使用料の減免措置等の

議決を得た上で、周知を

報告

水道事業、下水道事業、農業集落排水事業

国の水道事業経営戦略、下水道事業戦略、農業集落事業戦略について、保有する

資産の老朽化に伴う耐久更新の到来、人口減少等に伴う料金

収入の減収各事業において経営戦略を策定

との報告

佐々町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例

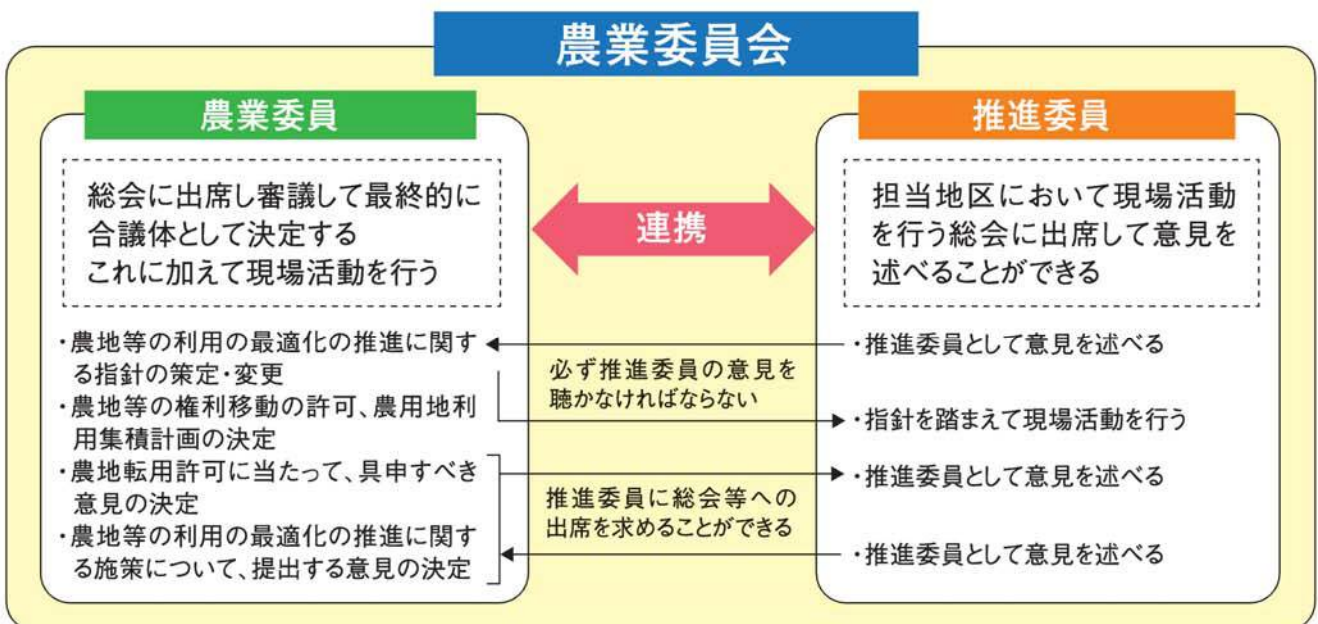
農業委員会の選挙による委員の定数

条例廃止、農業委員の議会推薦に関する定数条例廃止

特別職の報酬及び費用弁償に関する

条例一部改正、農業委員会法改正に伴う規則等廃止

## 農業委員と農地利用最適化推進委員の役割



# 町内会懇談会を開催

28年11月に町内の南部地区、北部地区、中央地区の3地区において佐々町議会は町内会懇談会を初めて開催しました。

テーマを決めず、住民の方から自由に「ご意見や提言をいただきました。たくさんのご意見のなかから一部を要約して掲載いたします。」

## 土手迎町内会 集会所

11月10日(木) 19時～

●水道ビジョンについて  
新水道ビジョンとは具体的にどういふことなのか。

●イノシシの被害について  
イノシシ対策や処理方法を佐々町ぐるみでどうにかできないのか。生産



## 市瀬町内会 集会所

11月11日(金) 19時～

●補助金・助成金の使途について  
各課の補助金や助成金がどのように使われたのか報告がない。議会のほうからでも出していただければと思う。

●西九州自動車道について  
事業の進具合はどのようなになっているのか。



●通学路について  
神田から若佐団地入口の国道に出るのはかなり遠い。川沿いにフェンスを張つてあるので通学路にできないか。

●皿山公園について  
国道から入って上の公園まで行くところの歩道に植木がしてあるが、歩道の半分ぐらいまで木が出ている箇所があるので剪定してくれないか。

●里町内会  
集会所  
11月18日(金) 19時～  
●町有地や公衆トイレについて  
町の遊休地が荒れ放題になっているところがある。旧施設についても今後どうするのか。  
また、千本グラウンドトイレの3カ所のうち一つは荒れ放題である。使用しないなら解体してはどうか。

●生徒の下校時間について  
冬場は日が暮れるのが早く、危険が多い。部活動終了後の下校時間を夏場と冬場で変えてはどうか。

●佐々町文化会館の駐車場について  
文化祭の際に出店した方や、来客の駐車場がなく非常に困ったので役場の駐車場を開放するなどの配慮がほしかった。

●佐々町の農業について  
佐々町のこの先10年後、農業を基幹産業として見据えているのか。それとも財源を確保するために企業誘致をするのか。農家としては設備投資等をしたくても目処が立たない。



今回いただきましたご意見は、今後の議会活動の参考にさせていただきます。  
ご協力をいただいた皆様ありがとうございます。  
次回は2月に開催を予定しております。  
詳細については最終ページに掲載しておりますので、皆様方のご参加をお待ちしております。

# 議会日誌

〔10月〕

- 3日 議会運営委員会
- 12日 総務厚生委員会  
(決算審査1日目)  
議会だより編集委員会
- 13日 総務厚生委員会  
(決算審査2日目)
- 14日 総務厚生委員会  
(決算審査3日目)
- 17日 総務厚生委員会  
(決算審査4日目)  
議会だより編集委員会
- 21日 総務厚生委員会  
(決算審査5日目)  
議会だより編集委員会
- 24日 産業建設文教委員会  
(決算審査1日目)
- 25日 産業建設文教委員会  
(決算審査2日目)  
議会だより編集委員会

26日

議会だより編集委員会

27日

議会運営委員会

〔11月〕

- 4日 総務厚生委員会  
議長・副議長研修会
- 10日 土手迎町内会懇談会
- 11日 県知事・県議会議長への要望活動  
市瀬町内会懇談会
- 15日 産業建設文教委員会
- 17日 総務厚生委員会
- 18日 里町内会懇談会
- 22日 西九州自動車道建設促進協議会要望活動  
(九州地方整備局)
- 24日、25日 西九州自動車道建設促進協議会要望活動  
(衆議院議員会館・自民党本部・国土交通省・財務省)

〔12月〕

- 5日 全員協議会
- 6日 議会運営委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 15日 12月定例会(1日目)
- 16日 12月定例会(2日目)
- 12月定例会(3日目)



地元選出国会議員に要望



自民党本部に要望



財務省への要望



九州地方整備局に要望



## 福岡県川崎町議会―民生文教常任委員会来町

### 佐々中学校の

### ICT(電子黒板)教育の取り組みを視察

#### 1.日時

平成28年11月14日(月)  
14時から16時

業・自然を生かした観光  
福祉の町で、佐々町とよ  
く似た町です。

板操作ができる人が1  
人しかおらず、その人が  
1台を持って出かけて

授業を行っている状況  
のようです。  
ICTを導入すれば  
授業が変わる、子供が変  
わると思う、を持って帰  
られた。

#### 2.研修者

福岡県田川郡川崎町議  
会

民生文教常任委員会  
委員5名

議会事務局1名  
合計 6名

#### 4.研修目的

教育活性化のために  
ICT(電子黒板)を導入  
し、先進的な取り組み  
である佐々町を訪問し  
児童・生徒の学力向上へ  
努めることを目的とし  
て佐々中学校では、5校  
時目で全授業、11授業に  
ついて回ってもらった。  
国語文章の比較をタブ  
レットで、数学の関数の  
説明と授業でICT化  
の効果を再認識された。

#### 3.福岡県川崎町の概要

川崎町は福岡県田川郡  
の南西部に位置し、南北  
12.6km、東西4.9km、  
総面積36.14km<sup>2</sup>の町  
です。

#### 5.質疑応答

昭和12年に南部の安  
真木村と北部の川崎村  
が合併し、昭和13年から  
町政施行され川崎町と  
なる。

昭和30年代は、石炭産  
業で栄え、その後、農

業・自然を生かした観光  
福祉の町で、佐々町とよ  
く似た町です。

今、川崎町には電子黒



▶ 歓迎のあいさつをする淡田産業建設文教委員会委員長

## アカデミー研修

### 市町村議会議員研修に 参加して

議員

寺崎俊男  
阿部豊

10月27日、28日滋賀

での討議を実施

県大津市にある全国市  
町村国際文化研修所で  
全国の町長、議員74名  
とともに「人口減少社  
会に対応した行政運営」  
をテーマに研修を受け  
てきました。

一日目は、超高齢・

での討議を実施

人口減少社会の課題や  
地方の実相。地域圏構  
想の推進と広域連携の  
ポイントを受講。また、  
実例報告として、岡山  
県真庭市の市長による  
「真庭市が目指すもの」  
バイオマス利活用の取  
組紹介」。

二日目は、地域イノ

全国の方々とともに  
受講し討議を行う中で、  
人口規模は様々ではあ  
るが、地方の抱える課  
題は、類似している。  
視点を変えた課題の見  
方など参考となる研修  
でありました。



# 第3回 特集 完成間近！地域交流センター



## 地域交流センター 建設中

### 進捗状況

1月末90%です

### 完成予定

平成29年2月20日

### 開館セレモニー

平成29年3月18日

## 完成を待つ利用者の声（文化サークル）

### 佐々太極拳かんわ会

日に日に出来上がっていく交流センターをととても楽しみにしていました。これから沢山利用されてさせていただき太極拳の普及に繋げていけたら幸いです。



### コールトワニー

歌も歌える多目的ホールで練習できることを心待ちにしています。エレベーターが完備された交流センター、完成を機にサークル会員も増え佐々町の文化活動がますます発展することを期待しています。



### リリプアSAZA

交流センターの完成心待ちにしています。新館で練習できるかと思うと皆やる気満々です。更に練習に熱が入ると思っています。



### さわやかコーラス

2階に予定されている多目的ホールに期待しています。従来の音楽や、軽運動室より広く、フェスティバルなどでの発表の場としても利用できたらいいなと思っています。



### きらひめ新体操クラブ

交流センターの完成を、とても楽しみに待っています。これからも沢山の子供達と交流しながら、楽しく活動していきたいと思えます。



玄関ホール内のエレベーター

オープン(施設貸出)平成29年4月1日以降

# 全国の議会広報研修会で 得たものを今後活かしたい

平成28年度町村議会広報研修会

平成28年10月26日、東京千代田区の砂防会館で開催された「町村議会広報研修会」に、議会だより編集委員の橋本義雄、永安文男、事務局の山藤宏太の3名が出席しました。

## 2、「読まれて、伝わる 広報誌」

講師 豊田健一氏  
広報誌の発行目的は、住民と議会との良好な関係づくりである。

## 1、「分かりやすく、伝 わる広報誌の表記」

講師 赤羽博之氏  
広報誌というものは読んでいただくものである。作って配れば終わりではない。

スツと読めて、意味内容がしっかり相手に届く文章が読んでもらえるのである。文章は、①短く書く(一文は長くても60字まで)、②重複を省く(言葉、意味の重複を省く)、③具体的に書く(数字等を入れて)の3つが重要であり、第三

査にあたっては、住民の立場に立って編集されているかを第一義とし、5つの指針に従って編集技術の審査を行っている。

①編集体制、②企画・構成、③編集・デザイン、④言語・文章、⑤表紙写真

編集にあたっての心得として、具体性のある見出しで読者をひきつけること。内容の正確さ、透明性の確保が重要である。

## ○優秀誌クリ ニック

・岩手県金ケ崎町「議会だよりかねがさき」  
・山形県川西町「かわにし議会だより」

今回の研修で得たものは、いかに手に取って読んでもらえるかを重視し、住民視線での読み手

## 議会広報研修

1月18日、県市町村会館で議会広報研修が開かれ7町50名が出席しました。佐々町は、議会だより編集委員会全員と事務局1名の6名が出席しました。

に配慮した文章作成、住民の関心事、インパクトのある記事、レイアウトといった技術の向上を目指し、今後「読者本位の編集」という姿勢を大事にしていかなければならないと感じました。これらの学んだことを、今後の議会だよりに活かしていきたいと思っています。

グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に迎え、13時から広報誌の編集のポイントについて講演を受けました。内容として、広報紙の媒体特性を知る、広報紙の編集のポイントという題で、それぞれ特性や住民にわかりやすい紙面について細かな説明がありました。14時15分から議会広報誌のクリニックが行われ、時津町、かわたな町、おちか町、佐々町、ながよ町の順で全ページそれぞれ指摘がされました。佐々町は、初めての出品ということで緊張高まる中、クリニックが始ま

り、総評(16ページ中11ページがGOODマーク)を聞きホッとした表情の委員長、副委員長の姿が印象的でした。今回の研修を機に指摘された点を反省しながら、住民に分かりやすい紙面編集、住民に読んで頂くための編集の工夫を考えたながら、今後のよりよい議会だより編集に努力をしていきます。

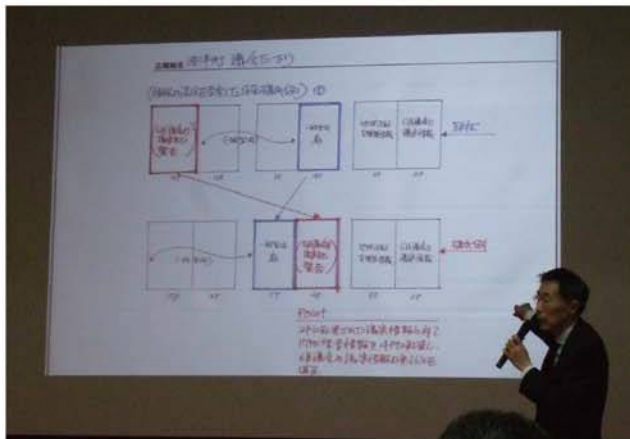
## おわびと訂正

前号で誤りがありました。ご迷惑をおかけしましたことをおわびし、訂正いたします。

○6頁2段目8行目「生かした」とあるのは「活かした」の誤りでした。

○9頁1段目12行目から2段目1行目まで4行全文太字とすべきでした。

○13頁最下段「次回の」とあるのは「今回は」の誤りでした。



# 町民の声

## みなさまの消防団

町内の皆様には本年もご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

さて、佐々町消防団は、昨年12月に年末夜警を実施いたしました。年が変わり1月6日に平成29年佐々町消防出初式が沢山の来賓出席の上、開式。

閉式後市中行進（観閲）、佐々橋下での消防演習（一斉放水）を行いました。

佐々町消防団団長 池田新治



出初式で市中行進

## 市瀬町内会「防災ウォーキング」開催

雨天のための集会所で防災イベント

市瀬町内会では隔年ごとに、防災ウォーキングを実施しています。今年は11月27日に実施しました。当日は雨天のため、野外のウォーキングが出来ませんでしたので、集会所で防災イベントを行いました。

地域の危険箇所・砂防ダムなどの施設をあらかじめ撮影しておいた映像を使って、参加者の小学生にもわかりやすい説明をしました。

また、長崎県の砂防防災課の担当者の土砂災害についての話もありました。

最後に炊き出し班による「おにぎり」、「豚汁」を作り、参加者全員による、懇親を深めるための昼食会をしました。

佐々町は自然災害が少ないので、防災意識が希薄になりがちです。しかし、気候変動による想定外の自然災害が起きたときに備えて被害を軽減するため、地域で、

互いに助け合う、「共助」の重要性がますます高まっています。と思っています。

町内会長 浦 敏夫



防災イベントに参加したみなさん

## さざん花町内会

### 自主防災訓練

11月19日(土)に「非常食の炊き出し」と「クロスロードゲーム」を行いました。

講師は、佐々町社会福祉協議会から派遣していただき、ハイゼックス袋を使用した非常食炊飯の仕方を学び、また、クロスロードゲームでは、災害時の対応については日頃から考え、準備しておくことが大切であることに気付かされました。

## 町民の声を募集中!

TEL62-2101  
FAX63-5398

最後に参加者全員にアンケート調査を行いましたところ、「参加して防災意識が高まった。」「訓練は必要だと思った。」「今後も活動に参加したい。」などの意見が多くありました。

今後色々な防災訓練を重ね、災害に対する住民意識の向上に努めてまいりたいと考えております。

町内会長 伊東 定



非常食の炊き出し

## 町内会懇談会開催

佐々町議会では、次の4箇所で町内会懇談会を開催します。

町民の皆様のご意見を聞き、町政に反映することを目標としています。

2月初旬、暦の上では春の訪れを待ち望む時季です。また、卒業や入学など人の動きにも変化があり、新しい始まりへの期待に胸ふくらむ時期でもあります。

町では平成28年度の諸事業の推進と並行して、平成29年度に向けての諸準備が進められています。

議会においても、希望に満ちたまちづくりに向けて住民の皆様のご期待に応えるために、なお一層の努力をしております。

福田喜義

## 編集後記

見に来ませんか  
佐々町議会  
3月上旬開催予定

